

ご協力いただいた先生より

「学びの地図」で子どもを主役に

港区立赤羽小学校 主幹教諭 **松村英治** 先生

総合的な学習の時間の目標の一つに、「実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。」があります。主語は、もちろん「子ども」です。これをどの学校、どの学年、どの学級、どの子どもでも実現できるようにしたいという思いから、「学びの地図」を制作しました。

総合的な学習の時間には、教科書がありません。教科書に代わって、子どもたちと教師が共に活用する共通のツールが、この「学びの地図」です。「課題の設定」から「まとめ・表現」に至るまでの探究のプロセスと、それぞれの段階において子どもたちが選択する具体的な学習活動の候補、その学習活動のよさや進め方、留意点等を掲載しました。

年度初めに「学びの地図」を学級全員で開いて単元のイメージを広げる、次の学習活動を決める際の参考にする、グループや個別の学習活動において必要に応じて参照する、実際に取り組んだ学習活動に印を付けたり、気付いたことを書き込んだりするなど、子どもたちと先生方が自由自在に使いこなしながら、総合的な学習の時間や探究の活動が楽しく充実したものとなることを願っています。



松村英治（まつむら・えいじ）

港区立赤羽小学校主幹教諭。平成24年度より東京都公立小学校勤務。
生活科や総合的な学習の時間、スタートカリキュラムの充実を目指し、全国に向けてさまざまな実践提案を行うほか、研修講師なども多数務めている。
著書に、『やりたいがとまらない最強の探究心の育て方 深い学びとウェルビーイングをひらく「エンゲージメント」4つの扉』（図書文化社/共著）、『子どもにとって大切なもの、教師にとって大切なこと。』（東洋館出版社）などがある。
「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」（国立教育政策研究所 編著）作成協力者、「評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究（令和元年・生活科）」協力者などを務める。光村図書『せいかつ』教科書編集委員。



光村図書

教授用資料

発行人 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111 (代表)

光村図書ウェブサイト

光村図書 | 検索



小学校

光村ポケット 総合

子どもたちが
自走できる資料を
手元に

総合的な学習の時間

「学びの地図」

PDF資料



光村図書

LINE公式アカウント友だち募集中!



授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。



教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

総合的な学習の時間「学びの地図」

総合的な学習の時間での使用を想定して、子どもたちが学びを進めることができるガイドを作成しました。
右の二次元コードから資料をダウンロードし、児童にお配りください。



光村ポケット 小学校 総合

① 課題の設定

実社会や実生活の中にある問題を基に、自分たちで課題を設定しよう！

体験活動

実際に見たり、聞いたり、試したりして、感じたことや気づいたことから疑問を見つけることができます。

- 体験活動を行う前に予想を書いたり、感じたことなどを記録するためのノートなどを用意したりしておきます。
- 体験活動を行ったあと、感じたことなどを明らかにしながら課題を設定します。
- 一人一台端末やデジタルカメラなどを用いて実際の様子を記録することも考えられます。

ゲストティーチャーとの関わり

くわしい人の話を聞いたり質問したりすることで、新しい気付きや疑問を見つけることができます。

- ゲストティーチャーに質問したいことや一緒にやりたいことなどを事前に考えます。
- ゲストティーチャーと関わりながら、分かったことなどについてメモを取ります。
- ゲストティーチャーとの関わりを通して気付いたことや考えたことなどを基に課題を設定します。

資料の比較

いくつかの資料を比べることで、共通点や違い、疑問を見つけることができます。

- テーマについて、学校図書館などで資料を集めます。
- いくつかの資料を比べて、共通点や違い、疑問などを見付けながら課題を設定します。
- 資料を比べる際には、ペン図やグルーピングなどを活用することも考えられます。

ブレインストーミング

友達や、一緒に行う人と自由にアイデアを出し合うことで、一人では思いつかなかった考えを見つけることができます。

- ブレインストーミングのルール（批判禁止や質問量など）を確認します。
- テーマについて自由にアイデアを出し合いながら課題を設定します。
- ウェビングやグルーピングなどと組み合わせて行うことも考えられます。

ウェビング

中心テーマから連想することで、つながりを整理しながら、発想を広げることができます。

- 中心テーマを決めてイメージを広げ、思い付いたことを書き込みます。
- 関連するキーワードを線でつないだり、同じ内容を線で囲んだりするなど、完成したウェビング図を分析しながら課題を設定します。

グルーピング(仲間分け)

たくさんの気づきや考えを仲間分けして、まとまりやつながりを見つけることができます。

- 体験活動を通して感じたことなどを、1枚のカードや付箋に1つの内容となるよう書き出します。
- 同じ内容や似ている内容を見つけてカードや付箋の仲間分けをし、まとまりごとにタイトルを付けます。
- まとまりとまとまりの間につながりを見つけたら、矢印や線で結んだり、気づいたことなどを書き込んだりしながら課題を設定します。



光村図書

他にも「思考ツール」はたくさんあるよ。目的や用途と合わせて、自分に合ったものを使おう！

こんなものもあるよ！

② 情報の収集

設定した課題を解決するために必要な情報を集めよう！

アンケート

選んだ多くの人の意見をまとめて、その傾向を知ることができます。

- 課題の解決のためには、誰にアンケートをとる必要があるかを考えます。
- 相手が答えやすいように、質問文や選択肢を短く分かりやすいものにします。
- WEBアンケート作成ツールを使うと、アンケートの配布や回収、集計を効率的に行うことができます。

シールで投票

限定されていない多くの人の意見をまとめて、その傾向を知ることができます。

- いろいろな多くの人の意見をまとめて、その傾向を知ることができます。
- いつ、どこで調査すれば多くの人に答えてもらうことができるかを考えます。
- 相手が答えやすいように、質問文や選択肢を明確にし、大きな文字で書きます。
- 道路や駅前などで調査する場合は、関係する方から事前に許可を得ます。

インタビュー

相手の意見をより深く知ることができます。

- 課題の解決のためには誰にインタビューをする必要があるかを考えます。
- 事前に質問内容をよく考え、インタビューメモを作成します。
- 回答に対して疑問点があれば、その場でさらに質問をします。
- すぐに会いに行ける距離ではない相手には、オンライン会議ツールなどを使ってリモートインタビューをすることもできます。

観察・実験

信用できるデータを手に入れることができます。

- 観察・実験の目的を明確にした上で、結果を予想したり、仮説を考えたりします。
- 理科や算数で学習したことを生かして、観察・実験の方法や結果の記録の仕方などを考えます。
- 確かなデータとなるよう、観察・実験を繰り返し行います。

図書館や図書室の利用

信頼性が高く、正確な情報を得ることができます。

- 本の題名に加えて目次や索引を見ることで、目的に合った本を見付けることができます。
- 出典を明らかにできるよう、本の題名や著者名、出版社名などを記録します。
- 司書さんに相談すると、より目的に合った本や関係のある本を紹介してもらうことができます。

インターネット検索

多くの情報を短時間で得ることができます。

- 必要な情報を得るために、「and 検索」や「or 検索」などの検索の方法を工夫します。
- WEBページの情報が確かな情報であるかどうかを考えます。また、生成AIがまとめた情報の中には、正しくない情報が含まれている場合があります。
- 出典を明らかにできるよう、WEBページ名やURL、閲覧日などを記録します。



光村図書

こんなものもあるよ！

③ 整理・分析

集めた情報を整理したり、整理した結果から何と言えるか分析したりしよう！

グルーピング(仲間分け)

アンケートの記述による回答などの特徴や傾向を知ることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 同じ内容や似ている内容を見つけてカードや付箋の仲間分けをし、まとまりごとにタイトルを付けます。
- まとまりとまとまりの間につながりを見つけたら、矢印や線で結んだり、気づいたことなどを書き込んだりします。

ペン図

集めた情報の共通点と違いを明らかにすることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 整理する視点を2～3つ決めて、それに合ったペン図を用意します。
- カードや付箋をペン図に位置付けます。

座標軸

2つの視点を組み合わせて、集めた情報の特徴や傾向を明らかにすることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 整理する視点を2つ決めて、座標軸を用意します。
- カードや付箋を座標軸に位置付けます。

ピラミッドチャート

集めた情報を具体化したり抽象化したりすることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 集めた情報を具体化（個別化、分解）したいときには、ピラミッドの上から下にカードや付箋を整理します。
- 集めた情報を抽象化（一般化、統合）したいときには、ピラミッドの下から上にカードや付箋を整理します。

グラフ

集めた情報の特徴や傾向が一目で分かるようになります。

- 解決したい課題や集めた情報、グラフの特徴を比べながら、グラフの種類を選びます。
- 算数の学習でデータを調べたり整理したりした経験を活用します。
- 表計算ソフトを活用することも考えられます。

地図

集めた情報について、場所による特徴や傾向を捉えることができます。

- 拡大した地図に色の付いた丸シールなどを貼ると結果が分かりやすくなります。
- 社会の学習で地図を使って調べたり整理したりした経験を活用します。
- 地図アプリケーションを活用することも考えられます。



光村図書

こんなものもあるよ！

④ まとめ・表現

整理・分析した情報を基に、自分自身の意見や考えをまとめたり表現したりしよう！

ポスターやパンフレット、リーフレット、新聞

自分自身の意見や考えを分かりやすく伝えることができます。

- 伝える目的や相手などに応じて、伝える内容や方法を選びます。
- 国語で学習したことを活用して、全体の構成や書き表し方を工夫します。
- 活動の様子や臨場感等を伝えるために、写真やイラストを使うことも考えられます。

スライドやWEBサイト、CM、ショートムービー

自分自身の意見や考えを身近な人だけでなく、国内外に発信することができます。

- 伝える目的や相手などに応じて、伝える内容や方法を選びます。
- 個人情報や著作権などの情報モラルに気を付けながら作成します。
- 動画や音声を組み合わせて、プログラミングによってチャットボットを作成したりすることもできます。

パネルディスカッションやシンポジウム

テーマについて異なる立場で議論しながら、自分自身の意見や考えを発信することができます。

- 進行の方法を決めたり、役割を分担したりします。
- 発表する内容を事前に想定し、根拠となる情報を集めるなどの準備をします。
- 短く分かりやすい発言や、相手の考えを取り入れた発言を心がけます。

制作やものづくり、総合表現

多様な表現方法によって、自分自身の意見や考えを発信することができます。

- 伝統工芸、料理、キャラクター、ロゴマーク、演劇、ミュージカル、歌などの方法が考えられます。
- 伝えたい意見や考えを明確にしたり、必要に応じてもう一度情報を集めたりしながら、制作などに取り組みます。
- 音楽や図画工作、家庭などで学習したことを活用することも考えられます。

レポート

文章や図表などを使って、自分自身の意見や考えを伝えることができます。

- 伝える目的や相手などに応じて、伝える内容や形式を選びます。
- 国語や算数で学習したことを活用して、事実や意見、引用を明確に区別して表現したり、図や表、写真、グラフなどを活用したりします。

社会への参画

日常生活や社会の中にある問題の解決に向けて、地域の人と一緒に取り組むことができます。

- イベントやフェスタ、祭り、地域の名所案内などの方法が考えられます。
- 問題の解決に向けて、効果的な取組を考えたり、地域の人などと相談したりします。
- 日時や場所、活動の流れ、役割分担などの計画を立てます。
- 参加者にアンケートを取るなど、取組の成果を確認します。



光村図書

こんなものもあるよ！